

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：駒岡げんきっず保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：矢部 雅子	定員（利用人数）： 60名
所在地：〒230-0071神奈川県横浜市鶴見区駒岡1-1-7	
TEL：045-571-6665	ホームページ：http://fuku-mirai.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成30年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人みらい	
職員数	常勤職員： 6名 非常勤職員 6名
専門職員	（保育士） 6名
施設・設備 の概要	保育室 4室 （設備等） 遊戯室、調理室、調乳室、幼児用 トイレ、乳児用トイレ、事務室 （医務室含む）、相談室、園庭、 床暖房（1階）、冷暖房、ダムペー ダーなど

③理念・基本方針

保育理念「夢見る力と大きな感動を」

保育目標

「子どもの安全を第一に、①健康で明るい子ども ②自分で考えて行動できる子ども ③自分の思いを表現できる子どもを育成する」

④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・（0.1.2歳児クラス）は外部講師によるリトミック教室を月に1回行っています。その他にもクラスでリズム遊びを楽しみ、乳児期から体を動かしたり表現したりする楽しさや、体幹・身体能力・季節を意識して活動をしています。活動中は無理強いをせず、子どもの「やりたい！」という気持ちを大切にしています。 ・（3.4.5歳児クラス）は外部講師による体操教室を月に2回行っています。各年齢別に年間のねらいをたて、目標を持ってマット運動、鉄棒、体操等を行っています。体幹を意識したり運動機能の発達はもちろんの事ですが、他運動会等を通して1つの目標に向かってみんなで頑張る力や達成感を感じています。 ・園の近くには大きな公園もあり、自然に恵まれています。広場で鬼ごっこやルール遊び、探索活動や虫探しなど楽しんでいきます。幼虫や虫を園に持ち帰り、育てるために自ら調べたり、成長する喜びなどを感じ自然に触れ大切さを学んでいます。 ・「食育」では、季節の野菜を自分たちで育て収穫し食べたり、季節の野菜に触れたりしています。幼児クラスでは、食事のマナー等も学びます。給食職員が毎日各ク
--

スを巡回し個々の摂食状況の把握等行い、安心・安全の食事提供を心がけています。
 ・今年度のクラス編成は、0,1歳児クラス（合同）、2歳児クラス、3歳児クラス、4,5歳児クラス（合同）としています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月24日（契約日） ～ 2021年11月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 年度）

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>◆子どもの豊かな発想を尊重しながら保育を展開していく取組を開始しています</p> <p>保育方針の一つである「自分で考えて行動できる子ども」を育てていきたいと園では考えています。園長は日々の昼礼で子どもを尊重し自主性を育む保育のあり方について意欲的に職員に発信し、保育者も保育環境の一つであることを職員に伝えていきます。職員が子どもに話すときの声のトーンや、主体的な遊びを育む保育の環境設定など、徐々に実践につなげています。夏祭りとして企画していた屋台の遊びや食べ物の数を増やし、もっと楽しいものにしたいという子どもの意見を尊重するため、日程を延期し秋祭りに変更しています。廃材も上手に利用しながら、子ども同士で話し合いながらチョコバナナやたこ焼き、綿菓子、タコ釣りなど屋台の準備をする姿が観察できました。</p> <p>◆ICTや掲示物を活用して、子どもの成長や保育内容を保護者に伝えることに努めています</p> <p>各保育室には職員用のタブレット端末を設置し、日誌や記録、連絡帳の入力、指導計画の作成など業務のICT化を図っています。連絡帳は、保護者がスマートフォンで見られるアプリを活用していて、日々の保育や子どもの成長の様子、作品の写真などをタイムリーに保護者と共有することができています。また、玄関には1週間の保育内容（週案）を掲示して保育の計画を伝えるように努めています。そして、今年度は保護者懇談会を開催し、園の保育方針について保護者に伝える機会を持つことができました。</p> <p>◆昼礼を積み重ねることで、職員間で情報共有や意見交換ができる職場づくりを進めています</p> <p>前年度、園として目標を持って保育することや、職員同士が協力し合うことが難しかったことを踏まえ、園では職員間で園内の出来事を共有できる職場環境づくりに注力しています。特に昼礼の機会を重要視し、各クラスの出欠、子どもの様子、けが・体調の状況などの基本事項のほか、注意したい言葉遣い、プライバシーへの配慮、外部研修内容の共有など保育について学ぶ機会にしたり、保育のあり方についてみんなで考える機会をったりするなど、さまざまなことを共有し、ともに考える機会としています。園長は、日々の積み重ねを通して、職員全体で方向性を共有しながら保育を実践していきたいと考えています。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>◆人材確保や定着に努め、内外の研修を充実させていくことが期待されます</p> <p>保育の質の向上や働きやすい職場をつくるため、主任の配置や、常勤職員の増員・</p>

定着を図ることが必要だと園では考えています。人材の確保は法人で一括して行っていますが、さらなる工夫が望まれます。就職希望者にとって有用な情報が得られるようなホームページの運用や、実習生の受け入れなど、未着手の取り組みを園独自に洗い出して、法人とともに検討していくことが期待されます。同時に、職員が将来展望を描けるような人材育成計画の作成やそれに基づく内外の研修への計画的な受講など、人材育成について体系的に整理して行っていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して4年目を迎え、初めて第三者評価を受審いたしました。この度のこの評価を通し、職員に多くの気づきや学びが生まれました。より良い保育園にしていくためには何が必要なのか、その具体的な内容や行動を、改めて話し合う機会を持つこともできました。

評価者の方より「園児・保育者・園の雰囲気良かった。」「子ども達が楽しそうに、自分のしたいことを自分で選んで遊んでいた。」というお言葉をいただくことができたことを嬉しく思います。引き続き子ども達が安心して通うことができ、保護者様から安心してお預けいただける保育園運営を心掛けていきたいと思っております。

課題として挙げられている点については、改善に向け真摯に向き合い、「自分で考えて行動できる子ども」を送りだせるよう、職員一同「子どもたちのために」日々の保育を見直し、精進して参ります。保護者の皆様、関係者の皆様のご協力により、このような機会を設けていただいたことに感謝申し上げます。誠に有難うございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり